



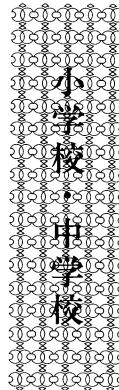
(保原高図書館)

特集

学習指導の展開(2)

はじめに

学習指導の展開については、本誌六月号、「学習指導の展開」(1)で、小中学校の国語、社会、算数・数学、理科、音楽を、高等学校の国語、数学、音楽を特集しましたが、本号では、「学習指導の展開」(2)として、小中学校的図工・美術、体育・保健体育、家庭・技術家庭、外国语、道徳、特別活動と幼稚園、高等学校の理科、保健体育、商業について掲載しましたので、六月号と併せて活用願います。



美 図画 工作 術



図画工作科では、今年度の指導の重
点として、
一、適切な造形活動ができるよう学習
内容を構成し、指導計画の改善に努
める。

などとなつてゐる。

そこで、児童生徒の造形能力を高め
るために、特に重要な導入段
階の発想の指導、及び表現過程におけ
る個別指導、さらに評価の生かし方等
について、指導の観点や留意事項を述
べることにする。

二、造形的な見方、考え方、表現のし
方を高める授業の展開に努める。
三、施設・設備を計画的に充実し、表
現や鑑賞の活動を充実する。
以上三つの柱におさえてあるが、美
術科についても同様の考え方によつて
くる。

いる。

図画工作科、美術科においては、造
形的な見方、考え方、表現のし方を高
めることが中心的なねらいであり、そ
のためには、常時児童生徒の実態に応
じて学習指導のくふう、改善が必要と
されるところである。日常の表現活動
の指導から主な問題点をあげてみると
○児童生徒の発想を豊かにするため
の手だてがじゅうぶんではない。
○表現活動において、一人一人の児
童生徒に適切な助言や援助が行われ
ていないことが多い。
○一人一人の児童生徒の表現活動の
傾向をとらえたり、また、指導法の
改善を図るための評価がおろそかに
されがちである。

などとなつてゐる。